

平成 26 年 11 月 11 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「年2回決算型」

2014年11月10日決算の分配金について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「年2回決算型」の各コースにおける2014年11月10日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

<年2回決算型>

■ 第10期分配金 (1万口当たり、税引前)

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
分配額	10円	10円	10円	10円

■ 第7期分配金 (1万口当たり、税引前)

	カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	金コース
分配額	10円	10円	10円	0円

■ 第2期分配金 (1万口当たり、税引前)

	米ドルコース
分配額	10円

・ 金コースにおいては基準価額の水準を勘案し、分配を見送ることいたしました。

- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

■ 2014年5月～2014年10月の運用経過

2014年5月～2014年10月の米ドル建てエマージング債券市場(参照指標:JPモルガンEMBI グローバル・ディバースファイド)は上昇しました。特に、前半は堅調な推移となりました。今年初めの寒波の影響で足踏み状態となっていた米国経済の成長回復が確認され、投資家のリスク許容度が回復したことや、インドやウクライナなどの新興国で行われた選挙結果などが支援材料となりました。しかし、後半は上値重く推移しました。ロシアとウクライナ間の緊張再燃や、中東でのイスラム過激派組織(「イスラム国」)の台頭などの地政学リスクの高まりに加え、米国の早期利上げ観測を背景とする世界的なマネーフロー変調への懸念などが弱材料となりました。米ドル建てエマージング債券の米国債に対するスプレッド(利回り格差)はわずかながら拡大し、現地通貨建てエマージング債券市場(参照指標:JPモルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド)は、新興国通貨が全般的に軟調となった影響から下落しました。

ポートフォリオは米ドルベースでプラスの収益率となりました。ギリシャのユーロ建て国債に加え、ベネズエラの米ドル建て国債や、中南米でモバイル通信事業を営む米国の NII ホールディングスの米ドル建て社債の組み入れなどがマイナスに作用したものの、ザンビアやインドネシア、スロベニアの米ドル建て国債の組み入れなどが、プラス要因となりました。

当期の主な投資行動では、ベラルーシの米ドル建て国債の全売却に加え、ハンガリーやトルコなどの米ドル建て国債の一部売却の一方、コートジボワールやガーナなどの米ドル建て国債の新規購入のほか、メキシコの米ドル建て国債の追加購入などを行いました。その結果、国別ではベラルーシやロシア、ブラジルなどの比率が低下し、一方でメキシコやコートジボワール、ガーナなどの比率が上昇しました。通貨別では、ユーロの比率が低下し、米ドルの比率が上昇しました。

期末時点のポートフォリオにおいては、国別では、メキシコやインドネシア、スロベニア、トルコなどが組入上位国となりました。米ドル以外の通貨では、ユーロやメキシコペソ、コロンビアペソなどの比率が比較的高めとなっています。

米国は金融引き締めに向かっていますが、日本や欧州が追加の金融緩和を打ち出すなど、先進主要国・地域の金融政策が全般として引き続き緩和的で、金利水準も低く抑えられているなか、エマージング債券市場は魅力的な利回りを提供していると判断しています。一方、新興国では、ファンダメンタルズや構造改革ペースの違いが徐々に広がりを見せるなか、エマージング債券市場の国ごとのリターンのはらつきもまた大きくなると想定されます。ポートフォリオでは、最近の債務水準の高まりや、米ドル建ての借り入れに対して収益計上通貨である新興国通貨安の影響への懸念などから社債に対する慎重な見方を強め、代わって、改革進展を評価するメキシコや、市場での認知度は相対的に低いものの、リスク対比で堅調なリターンへの期待からアフリカ諸国の米ドル建てソブリン債などに注目しています。

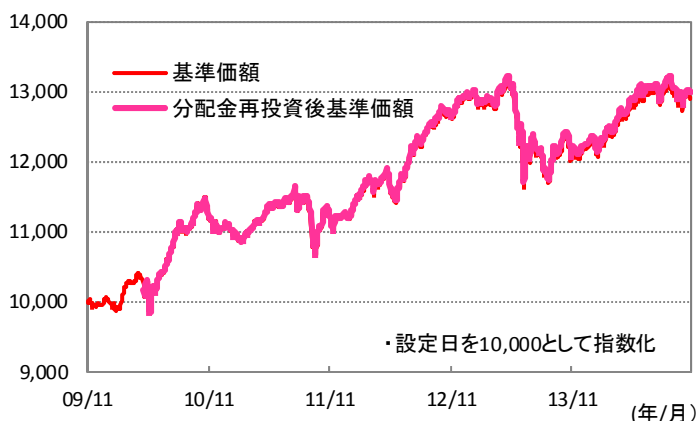
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍外国投資信託)は2014年10月末現在でエマージング債券の組入数は159銘柄、債券の組入比率は98.5%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

■ **基準価額の推移** (設定日～2014年11月10日)

- 「分配金再投資後基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。
- 円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日、米ドルコースの設定日は2014年2月7日です。

○ 円コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

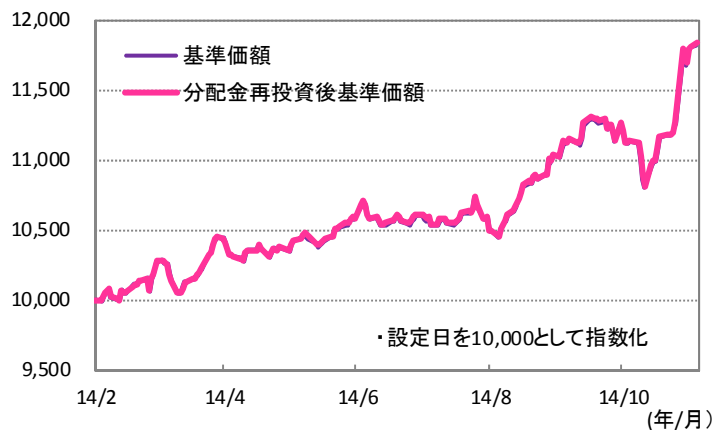
	決算日	分配金
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
第9期	2014/5/12	10円
第10期	2014/11/10	10円
設定来		90円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	12,895円
純資産総額	6.0億円

○ 米ドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

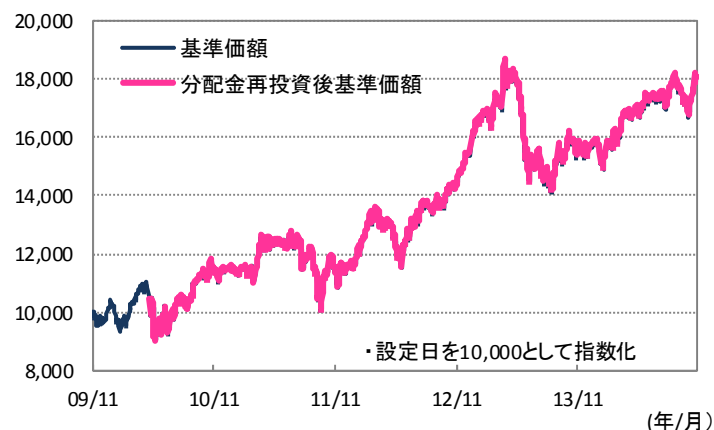
	決算日	分配金
第1期	2014/5/12	10円
第2期	2014/11/10	10円
第3期		
第4期		
第5期		
設定来		20円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	11,815円
純資産総額	2.1億円

○ 豪ドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

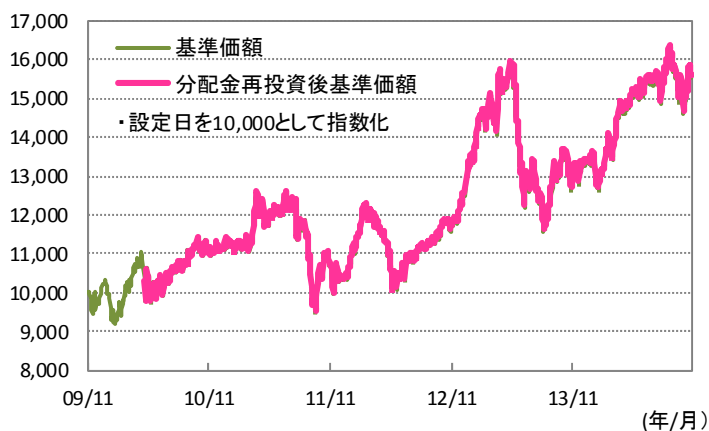
	決算日	分配金
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
第9期	2014/5/12	10円
第10期	2014/11/10	10円
設定来		90円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	17,949円
純資産総額	4.0億円

○ ブラジルリアルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

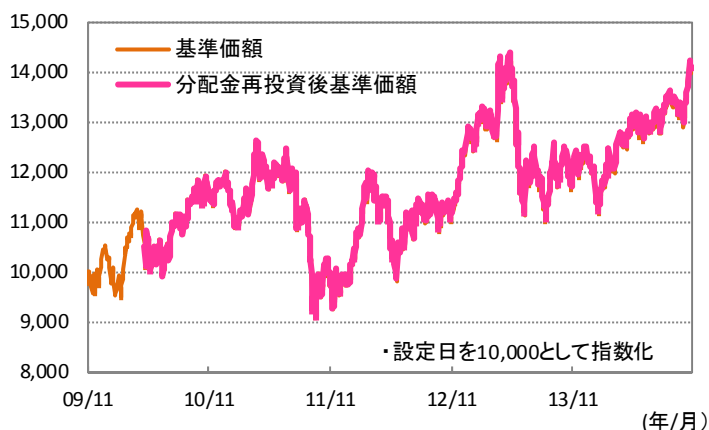
	決算日	分配金
第6期	2012/11/12	10 円
第7期	2013/5/10	10 円
第8期	2013/11/11	10 円
第9期	2014/5/12	10 円
第10期	2014/11/10	10 円
設定来		90 円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	15,505 円
純資産総額	15.7 億円

○ 南アフリカランドコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

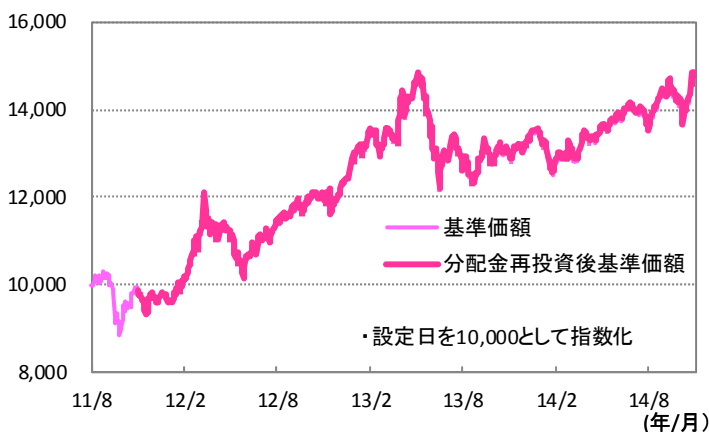
	決算日	分配金
第6期	2012/11/12	10 円
第7期	2013/5/10	10 円
第8期	2013/11/11	10 円
第9期	2014/5/12	10 円
第10期	2014/11/10	10 円
設定来		90 円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	13,962 円
純資産総額	0.3 億円

○ カナダドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

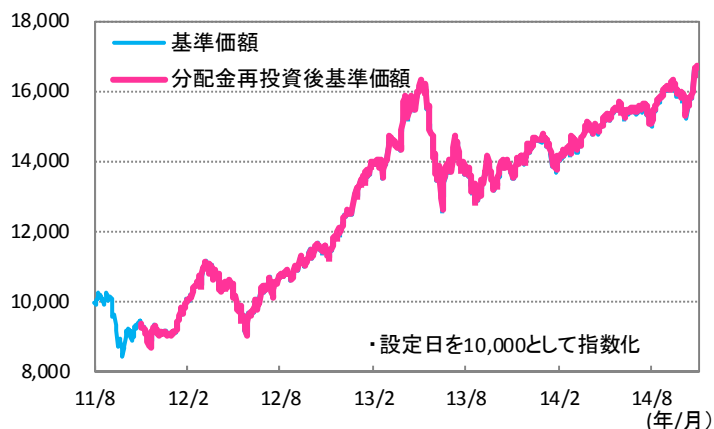
	決算日	分配金
第3期	2012/11/12	10 円
第4期	2013/5/10	10 円
第5期	2013/11/11	10 円
第6期	2014/5/12	10 円
第7期	2014/11/10	10 円
設定来		60 円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	14,801 円
純資産総額	1.3 億円

○ メキシコペソコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

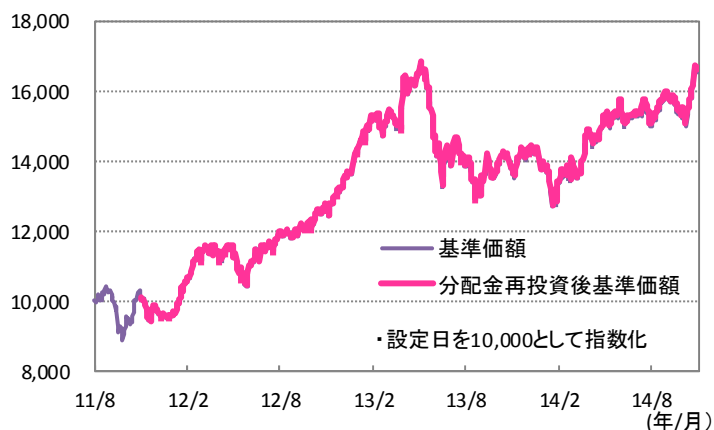
	決算日	分配金
第3期	2012/11/12	10 円
第4期	2013/5/10	10 円
第5期	2013/11/11	10 円
第6期	2014/5/12	10 円
第7期	2014/11/10	10 円
設定来		60 円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	16,653 円
純資産総額	25.8 億円

○ トルコリラコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

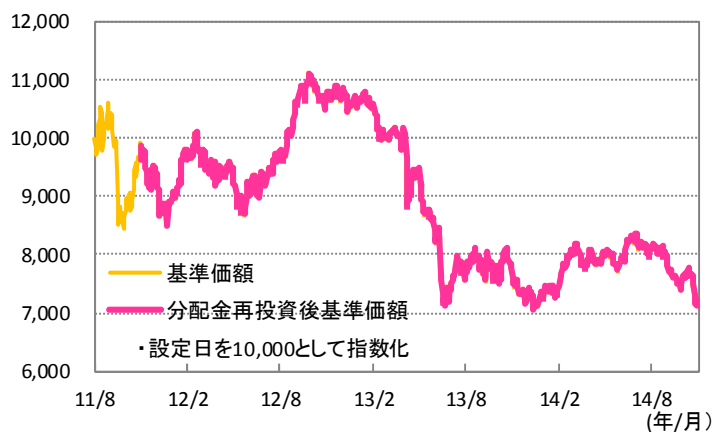
	決算日	分配金
第3期	2012/11/12	10 円
第4期	2013/5/10	10 円
第5期	2013/11/11	10 円
第6期	2014/5/12	10 円
第7期	2014/11/10	10 円
設定来		70 円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	16,558 円
純資産総額	5.8 億円

○ 金コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第3期	2012/11/12	10 円
第4期	2013/5/10	0 円
第5期	2013/11/11	0 円
第6期	2014/5/12	0 円
第7期	2014/11/10	0 円
設定来		10 円

※1万口当たり、税引前

2014/11/10

基準価額	7,221 円
純資産総額	2.9 億円

■ 分配方針(年2回決算型)

毎年5月および11月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。
- ② 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
* ただし必ず分配を行うものではありません。
- ③ 収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

加入協会に○印を記載しています。

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認いただき、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド> 「債券価格変動リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

◎その他の留意点

○ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

○為替取引に関する留意点

ファンドにおける為替取引は、主に為替予約取引を活用しますが、通貨取引に対する規制等の理由から、当該通貨での為替予約取引を行うことが難しい一部の新興国通貨については、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用します。NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDF想定金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少や為替取引によるコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与える場合があります。

※NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引とは

- ・投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行う取引をいいます。
- ・新興国通貨等への取引ニーズの高まりと共に、NDF取引が活用されるようになりました。

○有価証券への投資や為替取引などファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手先の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

○ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

○分配金に関する留意点

- ・分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。
- ・分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

◇ 購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 上限 3.24%(税抜 3.00%) (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	--

◇ スwitchング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 上限 1.62%(税抜 1.50%) (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	---

◇ 換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.9504%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 : 年 1.7004%(税抜 1.63%)程度 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) ●マネープールファンド : 年 0.594%(税抜 0.55%)以内
その他の 費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.00864%(税抜 0.008%) ●マネープールファンド : 年 0.0054%(税抜 0.005%) 【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。